

令和2年9月10日

総務委員会

企画調整部 企画課

浜松市総合計画 基本計画 中間報告について

◆ 資料 ◆

- 浜松市総合計画 基本計画 中間報告

令和2年9月10日

浜松市総合計画 基本計画

中間報告

浜松市

企画調整部 企画課

< 目次 >

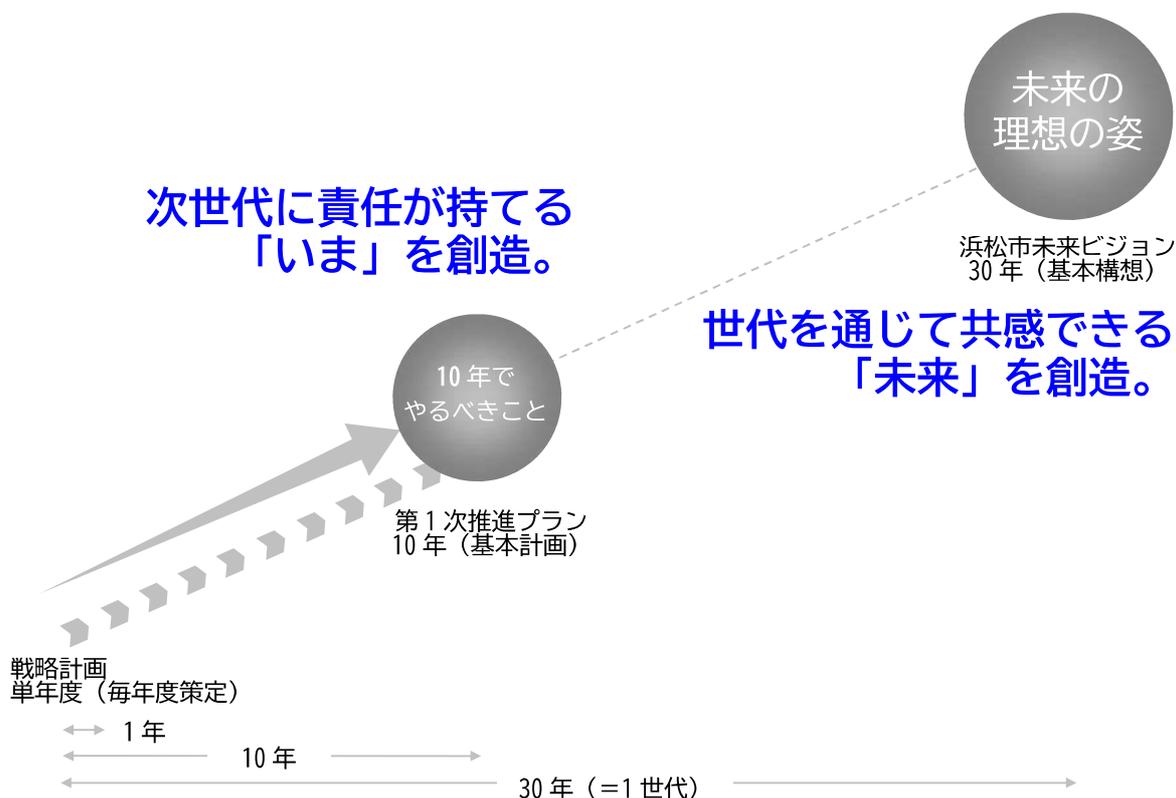
1	浜松市総合計画 基本計画の概要	1
2	中間報告	3
(1)	中間報告の目的	3
(2)	計画策定後の社会の動き等	4
(3)	指標・目標値（参考資料）の状況（全体）	7
(4)	分野別の状況と評価	12
■	総合	12
①	産業経済	13
②	子育て・教育	16
③	安全・安心・快適	18
④	環境・エネルギー	20
⑤	健康・福祉	22
⑥	文化・生涯学習	24
⑦	地方自治・都市経営	26
(5)	確認結果と指標・目標値の見直し	28
①	確認結果と指標・目標値見直しの考え方	28
②	見直し後の指標・目標値	29

1 浜松市総合計画 基本計画の概要

浜松市では、平成 26 年 12 月に市の最上位計画である総合計画として、浜松市未来ビジョン（基本構想）及び第 1 次推進プラン（基本計画）を策定しました。

基本構想は、1 世代先となる 30 年後を見据えたバックキャスト方式により、平成 27～令和 26 年度を計画期間として策定され、未来の理想の姿として「都市の将来像」と「1 ダースの未来」を定めており、基本計画では、未来ビジョンの実現に向けて、長期的な展望に立ち、平成 27～令和 6 年度までの 10 年間の総合的な政策を定めています。

基本計画は「都市経営の考え方」「まちづくりの基本的な考え方」「分野別計画」で構成されており、「分野別計画」においては、各分野における理想の状態として、「10 年後の目標（政策の柱）」を定めています。さらに、参考資料として、10 年後の指標・目標値（27 項目）を掲載しています。



【浜松市総合計画の構成、期間、内容】

基本構想 (30年)	世代を通じて共感できる 「未来」を創造	平成27～令和26年(30年間)
基本計画 (10年)	次世代に責任が持てる 「いま」を創造	平成27～令和6年(10年間)
戦略計画 (1年)	目標の達成に向けて 毎年度策定する実施計画	

都市の
将来像

市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」

- ・技術も文化も国際色豊かなクリエイティブシティ[創造都市]
- ・小さな歯車が重なって大きな‘こと’を動かす[市民協働]
- ・新しさを生む伝統を未来へつなぐ[ひとづくり]

1 ダースの
未来

- | | |
|---------------|----------------------------------|
| 1 つくる【創る】 | 「見たこともない」感動をつくる。 |
| 2 たかめる【高める】 | 自然の恵み × 浜松スパイス = 付加価値∞。 |
| 3 いかす【活かす】 | 日当たり良好、未来に無駄なし。 |
| 4 めぐらす【巡らす】 | エコ(ecological) = エコ(economical)。 |
| 5 つなぐ【繋ぐ】 | 「都会」と「田舎」。両方あって丁度良い。 |
| 6 みとめあう【認め合う】 | 似ていない。だから、うまくいく。 |
| 7 ささえあう【支え合う】 | 安心して選ばれる。安全だから選ばれる。 |
| 8 はぐくむ【育む】 | 子どもは将来を担う地域の宝。みんなで愛情を注ぐ。 |
| 9 みのる【実る】 | 若きに引き継ぐ。カッコいい老い方。 |
| 10 はたらく【働く】 | 「やってみたい」を自由にチャレンジ。 |
| 11 かえる【変える】 | 都市(まち)だって、スリムになりたい。 |
| 12 むすぶ【結ぶ】 | もはや遠距離は、妨げではない。 |

基本計画

都市経営の
考え方

市民協働で高める地域力
未来まで続く持続可能なまち
未知の感動を生み出す創造都市
想定外にも対応できる自立・自律したまち
世界とツナグ・地域とツナグ

まちづくりの基本的な考え方

分野別計画

産業経済
子育て・教育
安全・安心・快適
環境・エネルギー
健康・福祉
文化・生涯学習
地方自治・都市経営

2 中間報告

(1) 中間報告の目的

浜松市では、基本構想の実現に向けて策定した基本計画において掲げた 10 年後の姿を実現するため、戦略計画（実施計画）を毎年作成し、戦略計画を核とする PDCA サイクルにより計画的な進捗管理を行っています。

令和 2 年 3 月末をもって基本計画の計画期間の前半となる 5 年間（平成 27～令和元年度）が経過したことから、今回、計画策定後の社会の動き等を振り返った上で、基本計画の指標・目標値及び主な取組の状況について確認し、基本計画における分野別の 10 年後の目標（政策の柱）と基本政策や、基本計画の参考資料として示した指標・目標値の見直しについて検討します。

(2) 計画策定後の社会の動き等

平成 26 年 12 月の総合計画（基本構想及び基本計画）策定以降の社会の動き等について、主要なものとして以下が挙げられます。

① 地方創生

平成 26 年 11 月のまち・ひと・しごと創生法可決・成立に伴い、地方版総合戦略の策定が自治体の努力義務として定められ、全国で地方創生の取組が進められています。

浜松市においても、平成 27 年 12 月に「浜松市“やらまいか”総合戦略」を策定し、若者、子育て世代の生活基盤の安定に向けた地元産業力の強化や、希望出生数をかなえる環境整備に向けた結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援などの施策に取り組んできました。令和元年 12 月に閣議決定された国の第 2 期総合戦略では、多様な人材の活躍や、SDGs、Society5.0 の概念が新たに盛り込まれ、これを踏まえ浜松市も令和 2 年 3 月に第 2 期総合戦略を策定しました。

② SDGs（持続可能な開発目標）

平成 27 年 9 月の国連サミットにおいて SDGs が採択された後、日本においても平成 28 年 5 月に政府が「SDGs 推進本部」を設置するとともに、同年 12 月には「SDGs 実施指針」を決定しました。

浜松市は平成 30 年 6 月に「SDGs 未来都市」に選定され、令和元年 5 月には「浜松市 SDGs 推進プラットフォーム」を立ち上げ、同年 8 月には「パートナーシップ シンポジウム」を開催するなど、SDGs の達成に向けた取組を進めています。

③ Society5.0

平成 28 年 1 月に閣議決定された第 5 期科学技術基本計画において、IoT、ロボット、AI、ビッグデータ等の先端技術を活用し、経済発展と社会的課題の解決の両立を目指す未来社会の姿として提唱されたものです。その後、新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、デジタル化への集中投資・実装や、人・イノベーションへの投資の強化などにおいて、具体化の動きが加速しています。

浜松市においては令和元年 10 月、「デジタルファースト宣言」を行い、AI・ICT 等先端技術やデータ活用などデジタルの力を最大限に活かした都市の最適化、市民サービス向上、自治体の生産性向上に取り組んでいます。

④ 第 32 次地方制度調査会

平成 30 年 7 月、総務省の「自治体戦略 2040 構想研究会」は、高齢者人口がピークを迎える 2040 年頃を見据え、地方圏の支え手の喪失、雇用・教育の機能不全、都市のスポンジ化、インフラの老朽化等を課題として示す報告書を取りまとめました。その後スタートした第 32 次地方制度調査会においても、「2040 年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応する観点」からの審議が行われ、令和 2 年 6 月には「地方行政のデジタル化」や「公共私連携と地方公共団体の広域連携」等への対応が必要である旨答申されました。

浜松市においても、資産経営を長期的かつ着実に推進するための羅針盤である「公共施設等総合管理計画」（平成 28 年 3 月）や、より厳しい社会経済情勢において自由度の高い経営資源を確保するための計画である「行政経営推進プラン【総論】」（令和元年 8 月）を策定するなど、人口減少、少子高齢化社会を見据えた持続可能な都市経営に取り組んでいます。

⑤ 災害と気候変動対策

ここ 5 年においても、日本は平成 27 年関東・東北豪雨、平成 28 年熊本地震、平成 29 年九州北部豪雨、平成 30 年北海道胆振東部地震、西日本豪雨、令和元年房総半島台風、東日本台風など、数多くの災害に見舞われました。特に風水害については毎年、多くの被害が発生しており、今後、気候変動の影響により、気象災害のリスクは一層高まる恐れが指摘され、世界的な気候変動対策の必要性はますます高まっています。

浜松市も平成 27 年 10 月に市と地域企業の出資により、政令指定都市として全国初の地域新電力である（株）浜松新電力を設立するなど、先進的な取組を進めており、令和 2 年 3 月には 2050 年までの二酸化炭素排出実質ゼロを目指し「浜松市域“RE100”」を表明しました。

さらに、令和元年度後半に発生した新型コロナウイルス感染症は、「新しい生活様式」の実践や、リモートワークをはじめとする働き方の多様化の進展など、社会・経済に大きな影響を与えているところです。

総合計画策定において取り入れた「バックカスティング」は、今後進むべき道筋を設定する方法の一つで、「あるべき未来」を最初の段階で決め、それを実現するためにいまなすべきことを考え、分析し、実行するという考え方です。

これに対して、過去のデータや実績に基づいて、その上に少しずつ物事を積み上げていく方法、もしくはその方法で将来を予測することを「フォアカスティング」と

いい、現在の延長線として未来を捉える考え方です。

フォアキャストは、その時々で現実的な対応ができるものの、必ずしも期待すべき未来に向かっていくとは限らないため、過去の積み上げやトレンドに従うことでは達成が難しい課題においては、バックキャストにより目標を明確に定め、その達成に向けて方向を見失うことなく着実に歩みを進めることが重要です。

総合計画は、策定方針において、人口減少・少子高齢化、防災・減災対策、地球環境問題やエネルギー問題、「想定外」の想定（歴史的な大激変への遭遇）等の注意点について認識した上で、市民の皆様と共感できる明るい未来の理想の姿を定めることとしました。

理想の姿については、一部で、急速なデジタル化を背景として現実味を帯びてきたもの（例：1ダースの未来[むすぶ]：「働き方が大きく変わりました。Web会議などが主流となっており、仕事のために移動することは、月に数回程度。」「児童・生徒はそれぞれインターネット端末を所有しています。」等）もありますが、総体としては、計画策定後の社会の動きを踏まえても、基本構想に掲げた1ダースの未来(理想の姿)を目指して基本計画及び事業を推進していく必要があります。

(3) 指標・目標値（参考資料）の状況（全体）

- ・基本計画で定めた 10 年後の目標の達成に向けて基本計画の参考資料として示した指標・目標値について、令和元年度までの実績に基づき、進捗状況を確認しました。

<評価区分>

- ・平成 27 年度～令和元年度のうち、直近の実績値で評価
 「△向上」：基準値に対して、実績値が目指す方向に向けて変動しているもの
 「▼低下」：基準値に対して、実績値が目指す方向とは逆に変動しているもの

<指標・目標値の状況>

分野	①市民アンケート 指標項目		②指標項目		①②合計		
	△向上	▼低下	△向上	▼低下	△向上	▼低下	合計
■ 総合		2	1	1	1	3	4
1. 産業経済		1	2		2	1	3
2. 子育て・教育		1	2	1	2	2	4
3. 安全・安心・快適	1		2		3	0	3
4. 環境・エネルギー		1	2		2	1	3
5. 健康・福祉	1		2		3	0	3
6. 文化・生涯学習	1		1	2	2	2	4
7. 地方自治・都市経営	1		2		3	0	3
合計	4	5	14	4	18	9	27

- ・全 27 指標のうち、67%を占める 18 指標が向上し、そのうち 5 指標が令和 6 年度目標値を既に達成した一方、残り 33%の 9 指標が低下しています。
- ・内訳を見ると、「①市民アンケート指標項目」については、全 9 指標のうち 44%の 4 指標が向上（残り 56%の 5 指標が低下）、「②指標項目」については、全 18 指標のうち 78%の 14 項目が向上（残り 22%の 4 指標が低下）となっています。

<状況が「△向上」となった指標> (18件)

①市民アンケート指標項目 (4件)			
分野	No.	指標項目	R6目標値の達成
3. 安全・安心・快適	12	自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合	
5. 健康・福祉	18	医療や介護の体制が整っているまちだと思ふ人の割合	
6. 文化・生涯学習	21	生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思ふ人の割合	
7. 地方自治・都市経営	25	必要な行政情報が提供されていると思ふ人の割合	
②指標項目 (14件)			
分野	No.	指標項目	R6目標値の達成
■ 総合	4	地域ブランド調査順位 (魅力度)	☆達成
1. 産業経済	6	市内総生産額	
1. 産業経済	7	農地の集積率	
2. 子育て・教育	9	待機児童数 (保育所)	
2. 子育て・教育	11	自分にはよいところがあると思ふ子どもの割合	
3. 安全・安心・快適	13	自主防災隊訓練実施率	☆達成
3. 安全・安心・快適	14	都市計画マスタープランの拠点に居住する人口	
4. 環境・エネルギー	16	市民1人当たりのごみの排出量	
4. 環境・エネルギー	17	電力自給率	
5. 健康・福祉	19	浜松市ささえあいポイント事業のボランティア登録人数	☆達成
5. 健康・福祉	20	健康寿命	
6. 文化・生涯学習	23	1日の趣味・娯楽時間	☆達成
7. 地方自治・都市経営	26	所轄NPO法人の総事業費	☆達成
7. 地方自治・都市経営	27	市民1人当たりの市債残高	

<状況が「▼低下」となった指標> (9件)

①市民アンケート指標項目 (5件)			
分野	No.	指標項目	
■ 総合	1	住んでいる地域が住みやすいと思ふ人の割合	
■ 総合	2	仕事と生活の調和が取れていると思ふ人の割合	
1. 産業経済	5	満足のいく雇用機会に恵まれていると思ふ人の割合	
2. 子育て・教育	8	子どもを生み育てやすい環境が整っていると思ふ人の割合	
4. 環境・エネルギー	15	環境に配慮して生活していると思ふ人の割合	
②指標項目 (4件)			
分野	No.	指標項目	
■ 総合	3	合計特殊出生率	
2. 子育て・教育	10	待機児童数 (放課後児童会)	
6. 文化・生涯学習	22	文化芸術創造団体の認定数	
6. 文化・生涯学習	24	成人の週1回以上のスポーツ実施率	

基本計画 指標・目標値実績表

○指標達成率（R6比）⇒ H27～R1のうち直近の実績値のR6目標値に対する指標達成率を算定したものを

■ 総合

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
1	住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合	(%)	58.9	60.3	63.7	54.5	60.3	58.8	▼低下	65.0	90%	
2	仕事と生活の調和が取れていると思う人の割合	(%)	35.4	35.9	36.9	17.3	24.7	22.8	▼低下	50.0	45%	

No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
3	合計特殊出生率	—	1.47※1 1.55※2 (H25)	1.57 ※2	1.57 ※2	1.53 ※2	1.51 ※2	1.43 (概数) ※2	▼低下	1.84	77%	
4	地域ブランド調査順位 (魅力度)	(位)	83 (H25)	56	78	49	55	44	△向上	50	113% ☆達成	(30)

※1：外国人を含む年齢別女性人口を用いて算出、※2：日本人のみの年齢別女性人口を用いて算出

■ 1. 産業経済

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
5	満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合	(%)	26.0	28.0	27.5	18.4	27.9	24.6	▼低下	30.0	82%	

No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
6	市内総生産額	(億円)	2兆9661 億円※3 3兆1233 億円※4 (H23)	3兆0000 億円 ※4	3兆0354 億円 ※4	3兆1766 億円 ※4	R3.4頃 確定	—	△向上	3.3兆 円 以上	96%	
7	農地の集積率	(%)	27 (H25)	30	30	30	31	32	△向上	50	64%	

※3：平成23年度しずおかけんの地域経済計算、※4：平成29年度浜松市の市民経済計算

■ 2. 子育て・教育

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
8	子どもを生き育てやすい環境が整っていると思う人の割合	(%)	23.4	26.1	28.9	16.3	24.3	21.5	▼低下	50.0	43%	

No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
9	待機児童数（保育所）	(人)	315	407	214	168	97	31	△向上	0	0%	
10	待機児童数（放課後児童会）	(人)	116	311	377	392	355	471	▼低下	0	0%	
11	自分にはよいところがあると思う子どもの割合	(%)	小学校 80.9 中学校 74.4 (H25)	小学校 82.2 中学校 74.2	小学校 83.0 中学校 75.0	小学校 83.2 中学校 75.5	小学校 83.4 中学校 80.3	小学校 85.2 中学校 78.6	△向上	小学校 85.0 中学校 80.0	99%	(共通: 85.0)

■ 3. 安全・安心・快適

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
12	自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合	(%)	76.4	77.5	78.6	76.5	77.1	78.3	△向上	80.0	97%	(82.0)
No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
13	自主防災隊訓練実施率	(%)	85.4 (H25)	(調査無)	(調査無)	(調査無)	99.8	99.8	△向上	91.6	108% ☆達成	
14	都市計画マスタープランの拠点に居住する人口	(%)	52,358 (H25)	52,551	52,515	52,517	52,675	52,692	△向上	53,000	99%	

■ 4. 環境・エネルギー

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
15	環境に配慮して生活していると思う人の割合	(%)	55.1	59.4	61.7	44.7	47.0	41.4	▼低下	66.6	62%	
No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
16	市民1人当たりのごみの排出量	(g/ 人・日)	898 (H25)	901	891	873	879	864	△向上	851	98%	
17	電力自給率	(%)	6.6 (H25)	10.4	12.9	13.8	14.9	16.0	△向上	17.6	90%	(17.5)

■ 5. 健康・福祉

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
18	医療や介護の体制が整っているまちだと思う人の割合	(%)	37.8	40.2	45.9	33.1	40.6	38.7	△向上	50.0	77%	
No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
19	浜松市ささえあいポイント事業のボランティア登録人数	(人)	1,011 (H26.10)	2,520	2,860	3,296	3,849	4,186	△向上	3,500	119% ☆達成	(7,400)
20	健康寿命	(歳)	男 72.98 女 75.94 (H22)	(調査無)	男 73.19 女 76.19	(未公表)	(未公表)	(未公表)	△向上	男 73.98 女 76.94	98%	

■ 6. 文化・生涯学習

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
21	生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合	(%)	29.4	30.7	36.2	27.1	32.3	33.1	△向上	35.0	94%	

No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
22	文化芸術創造団体の認定数	(団体)	71	96	105	115	124	63	▼低下	300	21%	
23	1日の趣味・娯楽時間	(分)	44 (H23)	(調査無)	50	(調査無)	(調査無)	(調査無)	△向上	50	100% ☆達成	
24	成人の週1回以上のスポーツ実施率	(%)	45.4 (H25)	(調査無)	(調査無)	47.2	(調査無)	42.5	▼低下	65.0	65%	

■ 7. 地方自治・都市経営

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
25	必要な行政情報が提供されていると思う人の割合	(%)	26.0	25.4	30.5	24.1	29.4	26.8	△向上	40.0	67%	

No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
26	所轄NPO法人の総事業費	(億円)	33.6 (H25)	36.9	36.6	36.4	38.4	R2.9頃 確定	△向上	37.0	103% ☆達成	
27	市民1人当たりの市債残高	(千円)	617 (H25)	589	587	582	570	560	△向上	550	98%	

(4) 分野別の状況と評価

■ 総合

<指標・目標値の状況と評価>

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
1	住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合	(%)	58.9	60.3	63.7	54.5	60.3	58.8	▼低下	65.0	90%	
2	仕事と生活の調和が取れていると思う人の割合	(%)	35.4	35.9	36.9	17.3	24.7	22.8	▼低下	50.0	45%	
No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
3	合計特殊出生率	—	1.47※1 1.55※2 (H25)	1.57 ※2	1.57 ※2	1.53 ※2	1.51 ※2	1.43 (概数) ※2	▼低下	1.84	77%	
4	地域ブランド調査順位 (魅力度)	(位)	83 (H25)	56	78	49	55	44	△向上	50	113% ☆達成	(30)

※1：外国人を含む年齢別女性人口を用いて算出、※2：日本人のみの年齢別女性人口を用いて算出

- No.1 の市民アンケート指標項目「住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合」については、R1 年度実績は H26 年度に比べ 0.1 ポイント低下しました。
- No. 2 の市民アンケート指標項目「仕事と生活の調和が取れていると思う人の割合」については、R1 年度実績は H26 年度に比べ 12.6 ポイント低下しました。
- No.3 の合計特殊出生率については、R1 年度実績は H25 年度に比べ 0.12 ポイント低下しました。
- No.4 の地域ブランド調査順位（魅力度）については、R1 年度実績は H25 年度に比べ 39 位向上し、既に R6 年度の目標を達成しています。

① 産業経済

<10年後の目標（政策の柱）> ※分野における理想の状態

- ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
- ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
- ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

<指標・目標値の状況と評価>

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
5	満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合	(%)	26.0	28.0	27.5	18.4	27.9	24.6	▼低下	30.0	82%	
No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
6	市内総生産額	(億円)	2兆9661 億円※3 3兆1233 億円※4 (H23)	3兆0000 億円 ※4	3兆0354 億円 ※4	3兆1766 億円 ※4	R3.4頃 確定	—	△向上	3.3兆 円 以上	96%	
7	農地の集積率	(%)	27 (H25)	30	30	30	31	32	△向上	50	64%	

※3：平成23年度しずおかけんの地域経済計算、※4：平成29年度浜松市の市民経済計算

- No. 5 の市民アンケート指標項目「満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合」については、R1 年度実績は H26 年度に比べ 1.4 ポイント低下しました。
- No. 6 の市内総生産額については、最新の H29 年度実績は H23 年度に比べ 533 億円増加しました。
- No. 7 の農地の集積率については、R1 年度実績は H25 年度に比べ 5 ポイント増加しました。

<「基本政策実現に向けた取組」のうち主なものの進捗状況>

【地域企業の新たな事業展開や成長産業へのチャレンジ支援】
H29 年度にフotonバレーセンター、H30 年度に次世代自動車センターを設置したほか、新産業創出事業費補助金、先端技術活用促進事業などにより地域企業の新たな事業展開や成長産業へのチャレンジ支援を行った結果、新技術・新製品開発などに取り組む企業が増加しました。新産業創出事業費補助金等の支援を通じた新技術・新製品開発などの事業化件数（H27～累計）は、284 件となっています。
【工場用地の整備とリーディング産業誘致】
新・産業集積エリア整備事業により第三都田地区工場用地を開発・整備し、戦略的な企業誘致を進め工場用地の分譲を行った結果、R1 年度末時点で分譲面積 34.9ha のうち 30.8ha に進出する企業が決定し、新たなリーディング産業となり得るロボット産業の拠点工場の誘致に成功しました。企業立地決定件数（H27～累計）は 130 件となっています。
【ベンチャー企業や新たな事業展開の支援、創業環境整備】
ベンチャー企業誘致に向け、H29 年度に「はままつトライアルオフィス」、H30 年度に「舞阪サテライトオフィス」を開設したほか、R1 年度に「ファンドサポート事業」及び「実証実験サポート事業」を開始するなどの取組を進めました。新規創業については、H27 年度に「はままつ起業家カフェ」を設置し、中小企業診断士の資格を持つ相談員による起業相談や補助金を活用した創業支援を行いました。
【浜松ブランドの確立と観光関連産業の主要産業化】
「出世の街浜松」及び「ビーチ・マリンスポーツの聖地」の発信や、H29 年大河ドラマ「おんな城主 直虎」放送を契機とした地域の歴史・文化の発信を積極的に実施するとともに、フィルムコミッションの推進等の取組を進め、地域ブランド調査における全国市町村魅力度ランキングは、56 位（H27）から 44 位（R1）に上昇しました。H30.4 には地域連携 DM0 として「浜松・浜名湖ツーリズムビューロー」を設立し、地域資源を活用した観光誘客事業を行いました。
【農地の流動化を促す仕組みの構築と農地の集約化】
今後の農業を担う農業者（担い手）への農地の集積・集約を進めるため、農地の貸し出し・売却希望情報を一元管理し、公開する農地銀行事業の周知を図るとともに、公開情報の HP 化により最新情報を広く提供しました。また、土地所有者と耕作者の賃借契約に公的機関が入る「農地中間管理事業」を積極的に実施し、農地の流動化を促進しました。

【農林水産業の6次産業化・戦略的経営支援】

未来を拓く農林漁業育成事業費補助金や海外販路開拓支援など、もうかる農業推進事業の実施を通じて、新商品・新サービスの開発や海外の大規模食品見本市への出展など、新たな取組に挑戦する事業者を支援し、農商工連携・6次産業化の推進を図りました。H30年度からは農・水産物の付加価値向上に向け、浜松・浜名湖地域の旬の食材である「浜松パワーフード」の取組を官民連携して進めており、浜松パワーフード宣言・応援宣言認定事業者数は、R1年度末で113事業者となっています。

【持続可能な森林経営・管理の支援、木材の生産・流通環境整備】

天竜材の需要拡大、ブランド化を進めるため、FSC認証材の更新・拡大に必要な「森林認証推進事業」を行った結果、森林認証面積はH27年度の43,553haからR1年度には48,542haへと着実に拡大し、市町村別日本一を維持することができました。また、東京2020大会関連施設での天竜材使用などの取組により、天竜材の流通、販路拡大を実現し、年間木材生産量はH27年度の116,933m³からR1年度の141,085m³に増加しました。

② 子育て・教育

<10年後の目標（政策の柱）> ※分野における理想の状態

- ◆子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- ◆すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

<指標・目標値の状況と評価>

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
8	子どもを生き育てやすい環境が整っていると思う人の割合	(%)	23.4	26.1	28.9	16.3	24.3	21.5	▼低下	50.0	43%	
No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
9	待機児童数（保育所）	(人)	315	407	214	168	97	31	△向上	0	0%	
10	待機児童数（放課後児童会）	(人)	116	311	377	392	355	471	▼低下	0	0%	
11	自分にはよいところがあると思う子どもの割合	(%)	小学校 80.9 中学校 74.4 (H25)	小学校 82.2 中学校 74.2	小学校 83.0 中学校 75.0	小学校 83.2 中学校 75.5	小学校 83.4 中学校 80.3	小学校 85.2 中学校 78.6	△向上	小学校 85.0 中学校 80.0	99%	(共通: 85.0)

- No. 8 の市民アンケート指標項目「子どもを生き育てやすい環境が整っていると思う人の割合」については、R1 年度実績は H26 年度に比べ 1.9 ポイント低下しました。
- No. 9 の待機児童数（保育所）については、R1 年度実績は H26 年度に比べ 284 人減少しました。
- No. 10 の待機児童数（放課後児童会）については、R1 年度実績は H26 年度に比べ 355 人増加しました。
- No. 11 の自分にはよいところがあると思う子どもの割合については、R1 年度実績は H25 年度に比べ、小学校で 4.3 ポイント増加、中学校で 4.2 ポイント増加となっています。

<「基本政策実現に向けた取組」のうち主なものの進捗状況>

【認定こども園への移行促進等による多様な子育てに対応できる環境整備】
認定こども園の数は12園（H27）から63園（R1）へ増加したほか、保育所、地域型保育事業の新設に取り組みました。その結果、保育施設利用定員数は11,201人（H27）から15,658人（R1）へと4,457人増加しましたが、昨今の社会情勢により保育需要が増大しており、待機児童の解消には至っていません。
【多様な主体の放課後児童会運営による子どもたちの放課後の居場所増】
地域の放課後児童会育成会やNPO法人、社会福祉法人が放課後児童会の運営を担い、放課後等の子どもたちの居場所を提供しました。その結果、放課後児童会定員数は5,432人（H27）から6,527人（R1）へと1,095人増加しましたが、放課後児童会の利用ニーズは増加しており、待機児童の解消には至っていません。
【学校、家庭、地域による特色ある「はままつの人づくり」】
学校・家庭・地域が連携・協働し、地域とともにある学校づくりを進める「コミュニティ・スクール」について、推進モデル校24校において試行し、本格導入の際の制度を設計しました。また、制度内容の周知を行い、導入に向けた機運の醸成を図るとともに、学校と地域をつなぐ学校支援コーディネーターの資質向上のための研修会などを開催しました。
【すべての子どもが能力や興味に応じた学びを深められる環境の整備】
心身に障がいのある子どもたちに適正な教育を提供するため、きめ細かな指導を行う体制を整備し、発達支援教室数は72教室（H27）から92教室（R1）に増加しました。また、不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を目指し、一人一人のニーズに応じた支援のため、相談体制を強化するとともに、校外適応指導教室や校内適応指導教室の設置を進めました。
【創り出す力、協働する力、自立的に行動する力を身に着ける環境整備】
キャリア教育の推進として、子どもや学校の実態、地域の特性を生かしたキャリア教育を実践している学校を実践モデル校として選定し、指導主事による訪問指導や実践事例の情報発信などにより、教員のキャリア教育に対する意識醸成を進めました。その結果、キャリア教育を意識して指導している教員の割合は、R1年度時点で小中学校ともに95%という調査結果が得られました。

③ 安全・安心・快適

<10年後の目標（政策の柱）> ※分野における理想の状態

◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。

◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

<指標・目標値の状況と評価>

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
12	自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合	(%)	76.4	77.5	78.6	76.5	77.1	78.3	△向上	80.0	97%	(82.0)
No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
13	自主防災隊訓練実施率	(%)	85.4 (H25)	(調査無)	(調査無)	(調査無)	99.8	99.8	△向上	91.6	108% ☆達成	
14	都市計画マスタープランの拠点に居住する人口	(%)	52,358 (H25)	52,551	52,515	52,517	52,675	52,692	△向上	53,000	99%	

- No. 12 の市民アンケート指標項目「自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合」については、R1 年度実績が H26 年度に比べ 1.9 ポイント増加しました。
- No. 13 の自主防災隊訓練実施率については、R1 年度実績は H25 年度に比べ 14.4 ポイント増加し、既に R6 年の目標値を達成しています。
- No. 14 の都市計画マスタープランの拠点に居住する人口については、R1 年度実績は H25 年度に比べ 334 人増加しました。

<「基本政策実現に向けた取組」のうち主なものの進捗状況>

【ハード整備による自然災害がもたらす被害の低減】

津波対策事業の「逃げる対策」として、H27 年度に津波避難マウンド 1 基を整備し、これにより、津波避難マウンド 3 基、津波避難タワー 9 基の津波避難施設の整備が完了しました。また、R1 年度末には「防ぐ対策」の要である市沿岸域 17.5km の防潮堤の本体工事も完成し、これらにより、津波被害の大幅な軽減が見込まれています。

【地域住民が積極的に防災訓練に参加する体制の強化】

地域防災リーダー、災害ボランティアコーディネーター養成講座を実施し、地域防災に係るリーダーの育成・強化を進めることで、市民が積極的に地域防災活動に参加する気運の醸成を図りました。H30.12 に開館した浜松市防災学習センターでは小中学生を中心とした防災学習環境の充実を目的とした防災学習講座を開催しています。

【防犯講座や防犯意見交換会の開催、地区ごとの連携】

防犯協会により年間約 300 回防犯講座を開催する等、啓発活動を推進しました。また、防犯協会情報連絡会を年 1 回開催し、浜松市警察部、警察署 6 署、防犯協会 6 団体及び市が連携を図りました。R1 年度には、市、市民、事業者などが協力、連携して、防犯意識を高める啓発活動等に取り組むため、新たな「浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画」の策定を進めました。

【集約型の都市づくり】

集約型の都市づくりを推進するため、居住及び都市機能を集積する誘導エリアを設定した立地適正化計画を H31.1 に策定しました。基本計画の指標「都市計画マスタープランの拠点に居住する人口」は令和元年度目標値 52,534 人に対して実績値 52,692 人と、順調に推移しています。

【スマートインターチェンジの設置及び幹線道路の整備】

スマートインターチェンジ事業を進めた結果、H29.3 に三方原スマートインターチェンジ、H31.3 に舘山寺スマートインターチェンジを供用開始しました。また、H30.2 に（市）小池 52 号線、H31.1 に（都）下石田葵西線（上島工区）が供用開始し、道路ネットワークの形成に伴い渋滞の解消等の成果がありました。

【消防団員の確保】

消防団員の確保に向けて、女性や若者に対する加入促進活動の充実を目指し、勤労者を対象としたイベント等における PR ブースの出展や公式インスタグラム等での情報発信等を実施したほか、女性消防団員にも配慮した庁舎の整備等の取組を進めました。消防団員の充足率は R1 年度実績で 96.7%と、概ね順調に推移しています。

【上下水道の管路や施設の耐震化・長寿命化】

水道事業については、基幹管路の耐震化を優先的に行った結果、浜北、天竜、細江、三ヶ日地区が完了するなど、基幹管路耐震適合率が R1 年度目標値 73.0%に対して実績値 73.3%と、順調に推移しています。また、下水道につきましても地震対策事業において基幹管路の耐震診断及び対策を行った結果、耐震化率が大幅に進捗し、当初の R6 年度目標 90.0%に対して R1 年度実績値 98.9%となりました。

④ 環境・エネルギー

<10年後の目標（政策の柱）> ※分野における理想の状態

- ◆ごみの減量や資源化、自然環境の保全に取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルが定着している。
- ◆再生可能エネルギー等が広く導入されるとともに、建物などのエネルギーの最適利用が進み、エネルギー自給率が高まっている。

<指標・目標値の状況と評価>

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
15	環境に配慮して生活していると思う人の割合	(%)	55.1	59.4	61.7	44.7	47.0	41.4	▼低下	66.6	62%	
No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
16	市民1人当たりのごみの排出量	(g/ 人・日)	898 (H25)	901	891	873	879	864	△向上	851	98%	
17	電力自給率	(%)	6.6 (H25)	10.4	12.9	13.8	14.9	16.0	△向上	17.6	90%	(17.5)

- No. 15 の市民アンケート指標項目「環境に配慮して生活していると思う人の割合」については、R1 年度実績は H26 年度に比べ 13.7 ポイント低下しました。
- No. 16 の市民 1 人当たりのごみの排出量については、R1 年度実績は H25 年度に比べ 34g/人・日減少しました。
- No. 17 の電力自給率については、R1 年度実績は H25 年度に比べ 9.4 ポイント増加しました。

<「基本政策実現に向けた取組」のうち主なものの進捗状況>

【環境配慮の仕組みづくりと体制の充実】
第2次浜松市環境基本計画で定めた「環境配慮指針」に基づき、一定規模以上の開発事業を行う事業者に対して、事業内容や開発地域に応じた環境配慮事項を示し、これに従うよう指導を行いました（5年間で約420件）。また、H28には浜松市環境影響評価条例を制定・施行し、環境に著しく影響を及ぼすおそれのある事業における計画段階配慮、環境影響評価及び事後調査が適切かつ円滑に行われるための手続き等を定め、事業者が適正な環境配慮を行うよう図ってきました。
【持続可能な社会の実現に向けて自ら行動する人材の育成の推進】
環境教育推進ネットワークを中核に、市民・市民団体・行政機関等が連携・協働し自ら行動する人材の育成を推進しました。幼稚園、小中学校で開催する移動環境教室を実施し、身近な環境問題に触れることで環境負荷の軽減と地球環境保全の意識向上を図りました。また、環境学習や環境保全活動の担い手を育成するため、環境学習指導者養成講座を開催し、R1年度時点で69人（H27～累計）が修了しました。
【ごみ減量及び資源化の推進】
H27年度から3Rに関する説明会を自治会等を対象に339回、13,775人が参加し、ごみ減量及び資源化について周知啓発しました。また、H29年度から「こどもモットイナイ大作戦」を小学校で実施し延べ249校、27,156人の児童が参加し、子どもたちの日常生活において、ごみを減らし、環境にやさしい生活を学ぶ機会を提供しました。ごみの減量により、現在のごみ処理体制のもと、安定したごみ処理を実施することができ、最終処分場の延命化に寄与しました。
【太陽光発電やバイオマス発電等の再生可能エネルギーの導入推進】
全国トップクラスの日照時間を誇る地域特性を活かした太陽光発電設備を中心に、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた各事業への積極的な支援と、設備の適正な設置や維持管理への誘導等による地域との調和による導入拡大により、固定価格買取制度に基づく10kW以上の太陽光発電設備の全国市町村別導入件数8,986件と出力導入量497,904kWで、引き続きトップを維持しています（R1.12時点）。
【エネルギーの地産地消に向けた電力供給体制の構築】
エネルギー地産地消のための体制構築の一つとして、H27年に本市と地域企業の出資で㈱浜松新電力を設立しました。市内再生可能エネルギーの拡大政策と連携し、地産地消推進の担い手として、再生可能エネルギー由来の電源を市内の公共施設や民間事業所等へ安定的に供給しています。

⑤ 健康・福祉

<10年後の目標（政策の柱）> ※分野における理想の状態

- ◆地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
- ◆病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

<指標・目標値の状況と評価>

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
18	医療や介護の体制が整っているまちだと思ふ人の割合	(%)	37.8	40.2	45.9	33.1	40.6	38.7	△向上	50.0	77%	
No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
19	浜松市ささえあいポイント事業のボランティア登録人数	(人)	1,011 (H26.10)	2,520	2,860	3,296	3,849	4,186	△向上	3,500	119% ☆達成	(7,400)
20	健康寿命	(歳)	男 72.98 女 75.94 (H22)	(調査無)	男 73.19 女 76.19	(未公表)	(未公表)	(未公表)	△向上	男 73.98 女 76.94	98%	

- No. 18 の市民アンケート指標項目「医療や介護の体制が整っているまちだと思ふ人の割合」については、R1 年度実績は H26 年度に比べ 0.9 ポイント増加しました。
- No. 19 の浜松市ささえあいポイント事業のボランティア登録人数については、R1 年度実績は H26 年度に比べ 3,175 人増加となり、既に R6 年度の目標値を達成しています。
- No. 20 の健康寿命については、最新の H28 年度実績は H22 年度に比べ男性で 0.21 歳、女性で 0.25 歳とそれぞれ延伸しました。

<「基本政策実現に向けた取組」のうち主なものの進捗状況>

【コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置の拡充】
H27年度に開始したCSWの配置は、R1年度には12人まで拡充され、その結果、地域課題の解消を図るためのきめ細かな対応の体制が構築されました。R1年度には、CSWは675件の新規個別相談を受けたほか、地区社会福祉協議会3地区において「地域診断」を行い、地域の社会資源や文化、福祉意識、地域の課題などを住民自らが検討し、課題解決に取り組むことができるよう支援するなど、住民主体の地域福祉活動の推進に取り組んでいます。
【元気な高齢な人の社会参加の後押し】
H31.2に「70歳現役都市・浜松」共同宣言を実施し、その柱の一つに社会参加支援を位置付けました。ささえあいポイント事業については、H30年度にそれまで介護サービス事業所に限定していた施設ボランティアの対象施設を拡充し、障害者福祉施設、保育施設等も対象としたほか、「健診ポイント」「ロコトレポイント」を新設するなど制度を拡充し、R1年度末時点でボランティア登録者数は4,186人、受入施設数は663施設となっています。
【障害のある人を支援する団体との連携強化、相談支援の協力・参画推進】
地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、H30.4に障がい者基幹相談支援センターを、また、R2.4には障害者相談支援事業所を再編し相談員を集約した障がい者相談支援センターを開設し、相談体制を整備しました。R1には、全体で約29,000件の相談を受け付けるとともに、福祉に関する研修会を約60回開催し、相談支援体制の強化に取り組んでいます。
【市民一人ひとりが健康づくりに取り組みやすい環境の整備】
「70歳現役都市・浜松」の柱の一つに健康増進を位置付けました。ノルディック・ウォークの普及や、市民いきいきトレーナーの協力による「浜松いきいき体操」の普及など、住民主体の健康づくりや市内の企業や団体等と連携をした健康づくり事業を進め、H30には厚生労働科学研究班が公表したH28年大都市別健康寿命調査においてH22、H25に続き3期連続で男女とも第1位になりました。
【医療の多様化、高度化等に対応した公立病院の病院経営】
浜松医療センター、浜松市リハビリテーション病院及び浜松市国民健康保険佐久間病院は、安全・安心な病院運営及び地域医療・地域包括ケアの推進を行うとともに、公立病院としての使命を果たすため、必要な医療機器の購入や施設整備を行いました。また、浜松医療センターにおいては、新病院整備の実施設計、建設予定地に敷設された都市下水路の移設工事に着手しました。

⑥ 文化・生涯学習

<10年後の目標（政策の柱）> ※分野における理想の状態

- ◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。
- ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

<指標・目標値の状況と評価>

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
21	生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合	(%)	29.4	30.7	36.2	27.1	32.3	33.1	△向上	35.0	94%	
No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
22	文化芸術創造団体の認定数	(団体)	71	96	105	115	124	63	▼低下	300	21%	
23	1日の趣味・娯楽時間	(分)	44 (H23)	(調査無)	50	(調査無)	(調査無)	(調査無)	△向上	50	100% ☆達成	
24	成人の週1回以上のスポーツ実施率	(%)	45.4 (H25)	(調査無)	(調査無)	47.2	(調査無)	42.5	▼低下	65.0	65%	

- No. 21 の市民アンケート指標項目「生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合」については、R1 年度実績が H26 年度に比べ 3.7 ポイント増加しました。
- No. 22 の文化芸術創造団体の認定数については、R1 年度実績は H26 年度に比べ 8 団体減少しました。
- No. 23 の 1 日の趣味・娯楽時間については、直近の H28 年度実績は H23 年度に比べ 6 分増加し、既に R6 年度の目標値を達成しています。
- No. 24 の成人の週 1 回以上のスポーツ実施率については、R1 年度実績は H25 年度に比べ 2.9 ポイント低下しました。

<「基本政策実現に向けた取組」のうち主なものの進捗状況>

【市民が多様な音楽に触れる機会の創出】
浜松国際ピアノコンクール、静岡国際オペラコンクール、アジア・太平洋吹奏楽大会などの国際的な音楽イベント開催により「音楽の都・浜松」を世界に発信したほか、ハノーバー市、ポローニャ市、札幌市、宝塚市との音楽文化交流や、市民創作オペラの公演などを通じ、多くの市民に音楽のすばらしさ、楽しさに触れる機会を提供することができました。「音楽を始めとする市の文化事業に対する満足度」は、H27年度の35.9%からR1年度は41.5%に増加しています。
【ライフスタイルに応じたスポーツの取組の支援】
浜松シティマラソンの開催やスポーツ推進委員による活動支援のほか、「するスポーツ」の振興として地元のトップアスリートの各学校への派遣、「観るスポーツ」の振興として、地元プロスポーツチームの支援、「支える（育てる）スポーツ」の振興として、スポーツ人材バンクの運営などの取組を進め、だれもが生涯にわたって気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを進めました。
【市民協働による文化の継承・活用】
市内の保護団体や学校、大学との連携により、無形民俗文化財の保存及び次世代継承に向けた育成活動を行いました。また、地域にある貴重な文化資源を郷土の宝として顕彰するため、H28年度に浜松地域遺産認定制度を導入し、団体等からの推薦に基づき認定しています。R1年度までの推薦受理件数（H28～累計）は310件となっており、広く継承・活用が図られています。
【創作活動を活発化し、新たな価値を生み出すための環境整備】
鴨江アートセンターにおける展示・イベント・アートワークショップなどの企画・開催や滞在型の創作活動の実施により、市民との交流機会の創出や創造活動情報の発信ができました。H30年度に市民の創造的活動を中間支援する支援体制として「浜松アーツ&クリエイション」を設置し、創作活動や新たな価値を生み出すための環境整備を進めました。
【スポーツツーリズムの推進】
ラグビーワールドカップ2019において、日本代表及びスコットランド代表の公認チームキャンプ地として両代表の合宿受け入れを行いました。東京2020大会についてはH28年度にブラジルのホストタウンに登録され、柔道やゴールボール等の交流合宿を行いました。H30年度にビーチ・マリンスポーツ事業化計画を策定し、ゾーニングや施設整備の方向性を定め、ビーチコートの整備に向け調査設計を進めています。

⑦ 地方自治・都市経営

<10年後の目標（政策の柱）> ※分野における理想の状態

- ◆協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
- ◆公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

<指標・目標値の状況と評価>

No.	市民アンケート 指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
25	必要な行政情報が提供されていると思う人の割合	(%)	26.0	25.4	30.5	24.1	29.4	26.8	△向上	40.0	67%	
No.	指標項目	単位	H26 基準値	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R1 実績	状況	R6 目標値	指標 達成率 (R6比)	R6 目標値 (戦略計画 等最新値)
26	所轄NPO法人の総事業費	(億円)	33.6 (H25)	36.9	36.6	36.4	38.4	R2.9項 確定	△向上	37.0	103% ☆達成	
27	市民1人当たりの市債残高	(千円)	617 (H25)	589	587	582	570	560	△向上	550	98%	

- No. 25 の市民アンケート指標項目「必要な行政情報が提供されていると思う人の割合」については、R1 年度実績は H26 年度に比べ 0.8 ポイント増加しました。
- No. 26 の所轄 NPO 法人の総事業費については、H30 年度実績は H25 年度に比べ 4.8 億円増加し、既に R6 年度の目標値を達成しています。
- No. 27 の市民 1 人当たりの市債残高については、R1 年度実績は H25 年度に比べて 57 千円減少しました。

< 「基本政策実現に向けた取組」のうち主なものの進捗状況 >

【「浜松市未来ビジョン」の実現に向けた進捗管理】
総合計画を推進するため、政策実現のために進める具体的な事業を示す実施計画として戦略計画を毎年度策定し、戦略計画を核とした PDCA サイクルにより、進捗管理と経営資源の重点化を図りました。H27.12には「浜松市“やらまいか”総合戦略」を策定して、地方創生の推進を図り、R2.3には新たな視点と強化ポイントを盛り込んだ第2期総合戦略を策定しました。
【必要な市政情報を市民が受信できる環境の整備】
市公式 WEB サイトに加え、市民に迅速かつ効率的に市政情報を提供することができるソーシャルメディアに着目し、H24.7 から開始している Facebook（いいら！）に加え、H28.7からは Twitter（てんこちょ浜松）、H29.7からは LINE（しゃんべえ情報局）を活用した広報に取り組んできました。また、新たなサービスやビジネスの創出を図るため、行政が蓄積した情報を誰もが自由に利用できる「オープンデータ」として、R1 年度までに 261 データを公開しました。
【NPO 支援、人材の育成等を担う中間支援組織の育成】
市民協働の推進を図るための拠点施設である市民協働センターの運営を、中間支援組織を構成員に含む指定管理者に委ねることで、中間支援組織における市民活動を支援する能力の向上を促しました。その結果、市民、市民活動団体、事業者からの相談への対応や、市民活動に関する講演会、交流会等の開催を通じ、市民協働センターでの相談件数（H27～R1 累計）は、1,697 件にのぼり、市民活動団体等の活動の活発化につなげることができました。
【適正な組織体制と定員管理】
H28.4 から R2.4 までを計画期間とした定員適正化計画の実行により、H31.4 の目標値である職員定数 5,182 人を達成し、効率的で効果的な都市経営を行う体制としました。
【財源の確保や規律ある財政運営】
特定目的基金の廃止・見直し、ネーミングライツなどの新たな財源確保、市債に依存しない規律ある財政運営を進め、中期財政計画に基づき、不測の事態が生じても、住民サービスを安定的かつ継続的に提供できる強固な財政基盤構築に向け前進しています。市民一人当たり市債残高は、R1 年度に 56 万円と、中期財政計画の計画値 58 万 2 千円を達成しています。

(5) 確認結果と指標・目標値の見直し

① 確認結果と指標・目標値見直しの考え方

- 計画策定後の社会の動きを踏まえても、現時点で基本構想に定める 30 年後の理想の姿の変更に至るものではなく、基本計画に定める分野別の 10 年後の目標（政策の柱）とその実現に向けた基本的な政策の変更の必要はないものと判断しました。引き続き、30 年後の理想の姿の実現と 10 年後の目標の達成に向け、継続して取り組んでまいります。
- 基本計画における 10 年後の目標の達成に向け、参考資料として示した指標・目標値については、既に令和 6 年度の目標値を達成した指標もあるなどの状況を踏まえ、一部見直しを行います。
- 指標・目標値は、以下の考え方に基づき設定します。
 - ① これまでの進捗状況等を踏まえ、既に令和 6 年度目標値を達成した指標についての上方修正や、より適切な指標項目への見直しを行います。
 - ② 令和 2 年 3 月に策定した「第 2 期 “やらまいか” 総合戦略」の基本目標及び KPI や、最新の戦略計画・個別計画の指標項目・目標値との整合を図ります。⇒ ①②より、基本計画策定時に掲げた 27 件の指標項目のうち 3 件を新たな指標に置き換え、2 件について実績を踏まえた目標値の上方修正を行い、5 件について、個別計画との整合を図り目標値の置き換えを行うこととします。
- SDGs の目標達成への貢献を念頭に置き、各指標項目と SDGs のゴールとの関連を示します。

② 見直し後の指標・目標値

■ 総合

No.	市民アンケート指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
1	住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合	%	58.8	↑	65.0	1~17	
2	仕事と生活の調和が取れていると思う人の割合	%	22.8	↑	50.0	5, 8, 10	

No.	指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
3	合計特殊出生率	—	1.43	↑	1.84	3, 4, 5	
4	地域ブランド調査順位（魅力度）	位	44	↑ 順位向上	30	8, 12, 14	○個別計画 目標値に 置き換え

■ 1. 産業経済

No.	市民アンケート指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
5	満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合	%	24.6	↑	30	5, 8, 10	

No.	指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
6	市内総生産額	円	3兆1766億円 (H29)	↑	3.3兆円以上	8	
7	農地の集積率	%	32.0	↑	50.0	2, 8	

■ 2. 子育て・教育

No.	市民アンケート指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
8	子どもを生み育てやすい環境が整っていると思う人の割合	%	21.5	↑	50.0	3, 4, 5	

No.	指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
9	待機児童数（保育所）	人	31	↓	0	4, 5, 8	
10	待機児童数（放課後児童会）	人	471	↓	0	4, 5, 8	
11	自分にはよいところがあると思う子どもの割合	%	小学校 85.2 中学校 78.6	↑	小学校 85.0 中学校 85.0	4	○個別計画 目標値に 置き換え

■ 3. 安全・安心・快適

No.	市民アンケート指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
12	自分の生命と財産は自分で守らなくてはならないと思う人の割合	%	78.3	↑	82.0	1, 11, 13	○個別計画 目標値に 置き換え

No.	指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
13	自主防災隊訓練実施率	%	99.8	↑	100	1, 11, 13	△上方修正
14	居住誘導区域内人口密度※	%	61.5	→	61.5	9, 11	□新規設定

※No. 14は指標項目「都市計画マスタープランの拠点に居住する人口」から変更

■ 4. 環境・エネルギー

No.	市民アンケート指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
15	環境に配慮して生活していると思う人の割合	%	41.4	↑	66.6	4, 6, 13, 14, 15, 17	

No.	指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
16	市民1人当たりのごみの排出量	g/人・日	864	↓	851	12	
17	電力自給率	%	16.0	↑	17.5	7, 9	○個別計画 目標値に 置き換え

■ 5. 健康・福祉

No.	市民アンケート指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
18	医療や介護の体制が整っているまちだと思う人の割合	%	38.7	↑	50.0	1, 2, 3, 9, 10	

No.	指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
19	浜松市ささえあいポイント事業のボランティア登録人数	人	4, 186	↑	7, 400	3	○個別計画 目標値に 置き換え
20	健康寿命	歳	男73.19 女76.19	↑	男73.98 女76.94	3	

■ 6. 文化・生涯学習

No.	市民アンケート指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
21	生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合	%	33.1	↑	35.0	4	

No.	指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
22	文化芸術活動拠点施設の利用者数※	人	29,302	↑	33,000	4	□新規設定
23	1日の趣味・娯楽時間	分	50.0 (H28)	↑	52.0	4	△上方修正
24	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	42.5	↑	65.0	4	

※No. 22は指標項目「文化芸術創造団体の認定数」から変更

■ 7. 地方自治・都市経営

No.	市民アンケート指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
25	必要な行政情報が提供されていると思う人の割合	%	26.8	↑	40.0	10, 16	

No.	指標項目	単位	R1 実績	方向性	R6 目標値	SDGs ゴール	備考
26	市と多様な主体との協働件数※	件/年度	194	↑	220	11, 17	□新規設定
27	市民1人当たりの市債残高	千円	560	↓	550	16	

※No. 26は指標項目「所轄NPO法人の総事業費」から変更



浜松市
HAMAMATSU CITY